

平成30年度第1回幕別町次世代育成支援対策地域協議会会議録

- 1 日時
平成30年5月11日（金）19：00～19：45
- 2 場所
幕別町役場 2階2A-B会議室
- 3 出席した委員
11人：千葉会長、式見副会長、浦上委員、片岡委員（代理川上）、杉山委員、
嶽山委員、西川委員、堀委員、前川委員、矢野委員、横山委員
- 4 欠席した委員
4人：荒木委員、大坂委員、小山委員、下川委員
- 5 事務局
10人：合田住民福祉部長、高橋こども課長、半田保健福祉課長、菅原保育係長、
田村こども支援係長、浜頭福祉係長、長田主査、高橋主任、森主任
- 6 配布資料
資料1：保育料の改正について
資料2：子育て応援サポートブック
- 7 内容
 - (1) 開会
こども課長より、4月の人事異動で新たに事務局に着任した職員の紹介と、
欠席委員について報告。
 - (2) 会長挨拶
 - (3) 議事【進行：千葉会長】
 - ① 保育料等の条例改正について
平成30年3月31日に子ども子育て支援法施行令が改正されたことに伴う、保育
料の改定について事務局（菅原係長）から説明。
【資料】
資料1 保育料の改正について
【質疑・意見】
なし。
 - (4) その他
 - 子育て応援サポートブックについて
昨年度作成した子育て応援サポートブックと、今年度増刷するにあたり、内容
の見直しを行っているもの（資料2）を配布。大きな変更点として、子育て中の
世帯が受けられる制度のページを見やすく整理したことや、新たに発達支援セン
ターについて掲載したことを事務局（田村係長）より説明。
【質疑・意見】
委 員：掲載されている制度について、変更があった場合はどのように対応する
のか。
事務局：制度が変わる可能性があることを注意文として掲載しているので、住民
から担当に問合せもらう形になる。
委 員：注意文をもう少し目立つように表示してほしい。（事務局：承諾）

委 員：クーポンはどのように利用するのか。
事務局：このまま子育て支援センターに持参し、担当で利用確認を行っている。
平成29年度のクーポン利用は、延べ66人、45,600円分であった。

委員：新たに発達支援センターについて掲載したのは大変よいこと。この他にも詳しく掲載できるものがあれば掲載してほしい。（事務局：検討する）

委員：現在、保育所・幼稚園等どこにも所属していない子どもはいるのか。そういった子どもへの対応はどうしているのか。

事務局：町外の認可外保育園に所属している場合もあるため、はっきりとした人数は分からないが、いると考えている。そういった子どもに限定しての対応は行っていないが、例えば健診に来なかった保護者には個別に電話連絡する等アプローチしている。

委員：各ページに担当の連絡先を掲載しているが、どこに連絡をしていいか分からない人もいると考えられるため、こども課の連絡先を目立つところに載せたほうがいいのではないか。（事務局：承諾）

委員：発達支援について、就学前は支援の必要の有無にかかわらず、保育園・幼稚園を専門の方が訪問する等、子ども全員に対してアプローチがあった記憶がある。それが就学後はなくなってしまうので、就学後も行えないか。

事務局：発達支援センターでの療育は就学前までしか行っていなかったが、今年度小学校に上がった新一年生を対象に、試験的に集団療育を行おうと考えている。学校への訪問についても、現在、発達支援センターの職員が調整役として訪問をしているが、人員を増やし、特別支援学級の状況を確認しながら、小学校と発達支援センターとのつながりを強めていきたい。

委員：「すくすく相談」を札幌地区でのみ行っている理由は。

委員：「すくすく相談」は始まって数年の事業であり、健診とは違って全ての子どもを対象にしたものではないので、全ての地区で行っていないのではないか。札幌地区で行っているのは出生数や人口が多いためと思われるので、今後の人の動きによって、開催場所が変わったり増えたりする可能性もあるのではないか。

○子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直しについて

前回の協議会で審議いただいた後、11月27日から12月27日まで行ったパブリックコメントで町に寄せられた意見はなかった。その後、民生常任委員会の所管事務調査で報告し、北海道との協議を経て平成30年4月から実施となったことを報告。

【質疑・意見】

なし。

○次回の開催について

委員の皆様におかれましては、今回が任期中、最後の地域協議会となる。平成27年7月以来、3年間にわたって5回会議に参画いただいたことに感謝いたします。今後新たな委員の選任を行うが、引き続きご協力いただく方もいらっしゃるかと思いますので、よろしく願いいたします。

閉会